



## 病院長からのメッセージ 「感染症について」

病院長 泉 良平

21世紀は、感染の世紀であるといわれます。20世紀は腫瘍の世紀と呼ばれ、がんなどの悪性腫瘍に関する診断・治療に医学的進歩がありました。19世紀以前にはコレラなどの感染症が大きな問題でしたが、消毒などの知識が広まったことや抗生物質の開発などにより、その脅威は減じてきていました。

しかし、文明の進歩が感染の脅威を人類に及ぼすことになりました。飛行機などの交通手段の進歩によって、人は短時間で世界を駆け巡ることができます。その結果、これまでは一地方の感染症であったものが世界に広がることになりました。例えば、アフリカの一地方の病気であったエボラ出血熱が米国などで問題となっています。最近の事例では、SARS（サーズ）が中国・香港から世界中に広がったことがあります。さいわいSARSは感染力が比較的弱く、世界的な流行には至りませんでした。

現在大きな問題となっているものに新型インフルエンザがあります。高病原性インフルエンザと呼ばれるもので、インドネシアなどでは、鳥から人へ、あるいは人から人へ感染がみられています。鳥インフルエンザが人に感染しやすい形へ変異すると、爆発的な流行が全世界的に発生するといわれます。飛行機が世界の空を飛び交う現代では、一旦、新型インフルエンザが発生すると、短時間のうちに世界中に蔓延するといわれます。高病原性であり、感染患者さんの死亡率が高いことはインドネシアなどの症例で確認されています。新型であるために、これまでのインフルエンザの免疫では対処できません。多くの方が感染し死亡する危険が高いといわれます。WHOでは、新型インフル

エンザに対する対策を準備していますが、爆発的な発生には有効な対処法はありません。

今シーズンは、インフルエンザの流行が例年よりも早くなっています。マスクの装着、手洗い、うがいなどの感染予防策をしっかりとできるように習慣づけねばなりません。新型インフルエンザにおいても同様のことがいえます。またノロウイルス感染症（感染性胃腸炎）も発生しています。嘔吐や下痢症状を来し、来院される方が増えています。

ノロウイルス感染症は口からの感染です。嘔吐物や便からノロウイルスが体外に排出され、それが、直接あるいは浮遊物として体内に入ることによって感染します。病状は比較的短時間でおさまりますが、高齢者など体力が低下している方には大きな身体への負担がかかります。病気そのものの死亡例は少ないといわれますが、脱水や、嘔吐物の誤嚥による肺炎の発症などによって病状が悪化する危険性があります。ノロウイルスには消毒用アルコールは効きません。次亜塩素酸が有効であり、ハイターがそれにあたります。ハイターで消毒する際には適切な濃度に薄めて使う必要があります。使用法の注意書きを守って使用していただく必要があります。また、嘔吐物や下痢便はまわりに広がらないように注意して、ナイロン袋などに密封して処理する必要があります。基本的には、手洗いやうがいの励行が感染予防に有効です。正しい知識で対応すれば、十分に予防できます。感染予防に強くなるには、十分な知識が必要です。皆さんで知識を共有して感染症に立ち向かいましょう。

## 目次

■病院長からのメッセージ 「感染症について」 病院長 泉 良平	1
■特集 患者・家族参加の看護 「患者・家族参加の看護」 看護部長 池上澄子 「患者・家族参加型看護計画」 看護記録検討委員会 中田しのぶ	2
「インタビュー！」 患者さまの声・ご家族の声	3
「患者・家族参加型看護を実践してみよう！」 看護師の声	4
■院長への手紙 ご意見とお答え	5
■連載 健康レシピ⑨ 栄養科 「いちごのババロア」	6
■連載 新病院川柳③ 「17文字メッセージ」	6
■連載 ボランティア・エッセイ41 「笑門来福」 病院ボランティア 石森貞夫	7
■今月のふれあいギャラリー	8
■今月のイベントと院内の動き	8



ふれあいギャラリーより  
「ねぎ」  
水彩画：わたしの絵日記4  
(石金和子さん)



# 特集

## 患者・家族参加の看護

看護部長 池上澄子



以前富山市民病院マガジンで、看護師がより患者さまに寄り添ったケアの提供ができるように、看護計画に患者さまや家族の方に関わって

いただく患者・家族参加の看護のことをお知らせしました。具体的に検討が進み、9月から試行を経て実施することができるようになりました。

看護師は今まで、患者さまが入院された時、患者さまの症状と治療方針、そして患者さまから頂いた情報を参考に、症状が苦しくならないように、治療を不安なく受けることができるように、入院生活が不快にならないようになど、

身体的・精神的・社会的面から治療環境を整えるために、24時間以内に看護計画を立て、患者さまの状態が変わるごとに看護計画を修正し適切な看護が提供できるように努力してきました。

しかし、患者さまに事前にどのようなケアをご希望されているかをお尋ねし、それを看護計画の中に取り入れ、「このような看護を提供していく予定ですが如何でしょうか」等の説明を十分に行っていませんでした。入院時にお渡しする入院診療計画書の看護師記載欄に看護計画を記入し、その説明をするに留まっていました。

どのようにすれば患者さま・家族の方と無理なく情報を共有し、入院期間のみならず、これからの

治療生活について一緒に考え、サポートしていくことができるのかを検討し、お互いにコミュニケーションが取り合えるように、今回、患者さまや家族の方に理解して頂きやすい文章にし記載する用紙を作成しました。

これから患者さまや家族の方と一緒に、病気と向き合う時の問題点を話し合い、計画を立て、記載した用紙をお渡しし、その計画に基づき看護を行います。身体の症状が変化した時には変化に合わせて、一緒に考え変更していきたいと思っております。

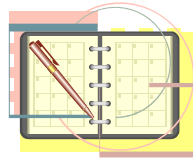
皆様のご意見を頂きながら検討を重ね、より良い看護を提供できるよう努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

### 「患者・家族参画型看護計画」

看護記録検討委員会 中田しのぶ

記録検討委員会では看護ケアの質向上を目指し患者・家族参画型看護計画を推進しています。患者・家族参画型看護計画とは患者・家族に診療や看護の情報を提供し、今困っていること、どうなりたかなど要望をお聞きし、患者・家族と共に入院中の看護計画（看護師にしてもらいたいケア）を考えることです。そのために委員会では行った看護の振り返りや記録に関する学習会を行い日々努力しているところです。実際の概要は右のとおりです。

患者様が快方に向かわれるように、常に医師、看護師、他の病院スタッフが個別にあるいは合同で話し合い（カンファレンス）、看護計画について検討しております。



- 1) 対象は入院中のすべての患者様です。患者様とコミュニケーションが取れない場合でも出来る限り家族に連絡を取りながら行っています。
- 2) 入院されたら24時間以内に、担当看護師が看護計画について説明いたします。
- 3) 入院生活のご要望をお聞きしながら、患者参画型看護計画用紙に計画を記載し、今後の目標も共に設定します。
- 4) 説明する時は患者・家族に分かりやすい表現になっているか、看護師の一方的な計画になっていないか、常に注意するよう心がけています。
- 5) 看護計画に変更が生じた場合でも随時、患者・家族とともに計画の見直しを行っています。



# インタビュー！

## 患者さまの声 ご家族の声



### 看護ケアに参加されて いかがでしたか？

- ◆何も分からず、不安な状態で入院したので、説明を受けて気持ちが楽になりました。（これから手術を控えている患者さんより）
- ◆最初は不安でしたが、参加することで、今の子供の状態がわかり、説明を受けることで、少し不安が解消されました。（NICUに子供が入院しているお母さんより）
- ◆母乳育児にしたかったので、それについて丁寧に教えてもらえてよかったです。（出産を終えたお母さんより）



### 看護ケアに参加したことが、退院後の生活に生かすことができますか？

- ◆多分生かすことができます。変なものは食べることができないとか、こうしてはいけないとか、自分なりに勉強になりました。（これから手術を控えている患者さんより）
- ◆参加したことで、子供のくせや特徴を知ることができ、自宅に帰ってから生かすことができました。（NICUに子供が入院しているお母さんより）
- ◆母乳育児で育てていくことができます。（出産を終えたお母さんより）

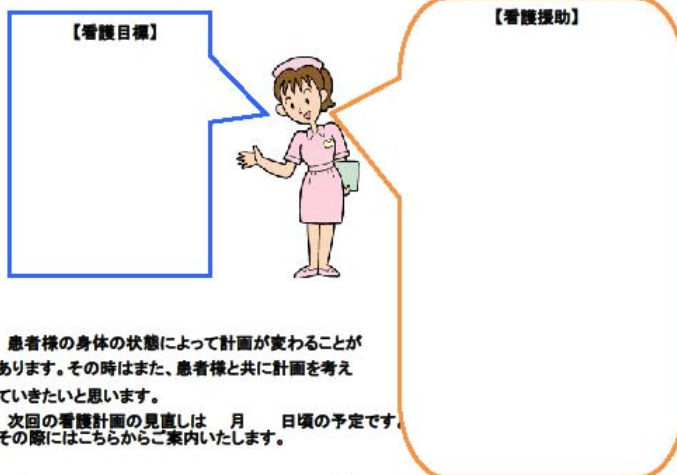
### 様の看護計画



私たちは、患者様に入院生活を安全に、そして快適に過ごしていただく為に患者様が抱えている問題を一緒に解決したいと考えています。体の状態や今困っていること、今後どうなりたいかをお聞きして一緒に看護計画を立て、援助をおこなっていきたく考えています。

今回のあなたの状態は

ですので、



患者様の身体の状態によって計画が変わることがあります。その時はまた、患者様と共に計画を考えていきたいと思えます。

次回の看護計画の見直しは 月 日頃の予定です。その際にはこちらからご案内いたします。

★ご意見や御希望または何か困ったことなど、ご自由にお書きください。

[ ]

平成 年 月 日 署名 \_\_\_\_\_  
(本人以外の場合は患者様との関係 )  
 富山県立市民病院 病棟 階 担当看護師 \_\_\_\_\_

### 健康について考えるきっかけになりましたか？

- ◆充分になりました。“守る”ということや“我慢する”など、いろんな面で注意していかねばならないなと思いました。（これから手術を控えている患者さんより）
- ◆やはり健康が大事だと思いました。（NICUに子供が入院しているお母さんより）
- ◆母乳育児に関して、食べるものとか勉強になりました。今は教えてもらったことを十分に活用して食事しています。（出産を終えたお母さんより）

## 看護師の声 「患者・家族参画型看護を実践してみて！」

**患者さま**が入院されるとまず看護計画をご説明します。患者さまやご家族はその説明に納得されれば、所定の用紙に承諾のサインをされます。従来、この過程は私たち病院側からの一方的な看護計画の提供でした。患者・家族参画型看護の導入後は、患者さま・ご家族の希望や要望をお聞きし、それを看護計画に盛り込む事ができ、お互いに看護目標・援助項目を明確にすることで、

看護の問題を患者さま・ご家族と共有することができました。

患者さまの反応は様々で、一部の患者さまからは、「分かりやすくして良い」との反応が返ってきました。患者さまのお言葉を温かく受け止め看護計画に取り入れることで、これからも患者さま・ご家族に質の良い看護ケアを提供していきたいと思えます。

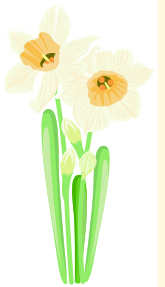


**従来看護計画とは**患者さまのものであるはずなのに、看護師自身のものとなっていました。しかし、最近では患者・家族が十分な参加の上で看護計画を作成し、患者さま・ご家族の意見を看護計画に反映させている病院が増えてきています。当院では7月より患者・家族参画型看護計画が開始されましたが、当病棟では病気のためコミュニケーションのできない患者

さまが多いので、ご家族に看護計画の説明を行い看護計画へ参加していただく事が多い現状です。

患者・家族参画型看護を行ってみて、患者さまのご家族と話し合う機会が増えました。また患者さまやご家族の希望を受け入れながら看護計画を立案でき、患者さまやご家族と看護計画の共有が図れるようになってきました。まだまだ個別的な看護計画には不十分な

ところもあり、もっと患者さま・ご家族の立場に立った看護計画を立案し提供していかなければならないと感じています。また、看護計画書を渡すことにより、私たち看護師自身も患者さまと一緒に治療に参加しているという意識づけがされてきていると思います。



### NICUの家族参画型看護を実践して

NICUにおける患者・家族参画型看護の特徴は、患者本人ではなくご両親という点です。

我が子と母子分離の状態になり、「何をしてあげればいいのかわからない」「何もできないのでお任せするしかないです」と、不安と慣れない環境で戸惑い、親としての役割を見失いがちな両親に、今の赤ちゃんの状態や両親が赤ちゃんにできる(してあげられる)ことを時期やタイミングを見計って情報提供し、段階をおって説明や指導をしていました。

しかし、ケアの中で両親とのすれ違いや看護師間での統一されていない場合があり、それぞれの看護師のケアや言動でお母さんの混乱を招くこともありました。退院

後のアンケートで、「もっと関わって欲しかった、もっといろんなことを教えて欲しかった」というご意見が聞かれました。もちろん、担当看護師を中心にスタッフ全員で看護ケアを進めていますが、お母さんには看護ケアの内容がよく分からなかったり、看護計画や記録が欠けているのではないかと心配になったり、看護師に促されるままに育児指導を受け、看護師に促されるままに赤ちゃんに触れたり声をかけたりしているのではないかと不安に感じる事があったのではないかと思います。

**★両親が望むことや両親の児に対する思いに耳を傾け、可能な限り両親の思いを尊重しよう。**

**★患者中心のケアは看護目標ではなく患者目標にしよう。**

と、無理のないように皆で関わっています。

患者・家族参画型看護の基準ができたことで、今度はいつ見直して次の段階へ進もうかなと思案したり、両親の参加したいという気持ちを大切にしながら、両親と看護スタッフの思いや考えを確認し合い話し合っています。看護スタッフは、看護計画書を活用し、両親が児に対してできることや児にしてあげたいことを両親から導き出すことで、今までの患者家族指導をするという感じから必要なケアと一緒に考えて実施していくという感覚の変化に喜びが感じられるようになりました。さらに、両親は育児ケアに参加することで親としての自信を深め、継続することで児の成長を親として実感できるようです。

導入し始めてまだ自分自身に戸惑いはありますが、見える看護ケアを実践していきたいと思えます。



# 院長への手紙

YES NO

「院長への手紙」にて、皆様から頂きましたご意見にお答えいたします。これからも、病院に関しましてご意見を頂きますよう、お願いいたします。皆様からご意見を頂くことによりまして、病院を改善して参りたいと存じます。

## 1. 車イス使用者の乗降場所について

◆ご意見

重度身体障害者を持つ母親です。娘を連れての受診のとき、いつも困っているのが車イスの乗降場所です。晴れた日はまだいいのですが、雨や雪の日は本当に困っています。現在、正面出入口は、バス停、タクシー乗降場所が並列してありますよね。バスとタクシーの間にうまく止められたら良いのですがうまく止められず、バスにクラクションを鳴らされたこともあります。車イスの方が増えており、困っているのは私1人ではないと思います。これからの季節、ますます車椅子の方専用の乗降場所が必要です。早い対応をお願いいたします。

★お答え

ご意見のように、正面出入口と救急患者搬入場所(救急車出入口)とが近接していることもあり、正面出入口前が大変手狭になっています。車イスにて病院を訪れる方が増えていることもあり、安全に乗降できる場所を作る必要があります。

ご意見を頂き、現在、正面入り口の側面に乗降口を作ることが出来ないかを検討しております。その際には、乗降の際の、皆様の安全第一を考慮しますと、植栽の場所の変更など工事を行う必要があるのではないかと考えています。早急に対応いたしたいと思いますが、工事を行う必要があることなどから、今しばらくのご辛抱をお願いいたします。大変、ご迷惑をおかけ致します。

## 2. 病室でのテレビ視聴について

◆ご意見

- 1. 病室でテレビを見るときはイヤホーンの使用を徹底していただきたい。体調がすぐれず、ベッドで午睡していたら、カーテン越しにテレビの音がかなりの大きさと聞こえてきて目がさめました。看護師さんから注意していただきたい。
- 2. テレビをつけるときは、必ずイヤホーンを義務付けてください。重病で思い悩んでいる人もいるのです。耳障りです。
- 3. 私はこちらの病院に入院させて頂いています。私の病気は安静と食事療法とが第一の目的で入院したのですが、こちらの病室では、就寝時間夜中0時をまわってもテレビなどつけていらっしゃる患者さんが多数いらしゃいます。(中略)先ず安静にと言うならばその環境が整った病院にして欲しいです。

★お答え

これまでも、大変多くのイヤホーン使用についてのご意見を頂いています。看護師がご注意するなど行っていますが、なかなか御協力をいただけないのが現状です。

入院中の患者の皆様には、多人数の病室でのテレビ視聴などに際しましては、他の入院患者様のご迷惑にならないように、イヤホーンをつけるなどして、病室の静寂を保つよう御協力をお願いいたします。

入院案内にても同様のことをお願いしてありますが、一部の方には御協力をいただけてないのが現状です。他の方のご迷惑となるときには、看護師などからお知らせいたしますので、なにとぞ御協力をお願いいたします。



### 入院中の赤ちゃんのお父さん・お母さんへ

富山県立富山市民病院 新生児治療科

- 当院新生児治療科では、赤ちゃんによろしくお世話をすることができ、お父さん・お母さんにお願いしているところが増えています。そのためにも看護スタッフとともに赤ちゃんにお世話をさせていただく機会、看護に参加していただきたいと思っております。
1. お父さん・お母さんから赤ちゃんの状況と、看護スタッフから赤ちゃんの状況を把握しあえます。そして赤ちゃんにこうなりたいという状況を、医療的な視点を踏まえ、お父さん・お母さんの意見を反映しながら把握してまいります。
  2. 赤ちゃんが良好な状態になれるように目標を決めたいと思っております。
  3. その目標に基づいたお父さん・お母さんにしていただく質問と、看護スタッフが提供できる看護を一緒に考え、実行に当たっていきます。
  4. 定期的に目標に基づいたことができたかをお父さん・お母さんと話し合い、新たな目標を決めて看護やケアを一緒に考えてまいります。



赤ちゃんにとって親が医療や看護を行うためには、お父さん・お母さんや看護スタッフが思いを伝えあうことが大切だと考えています。赤ちゃんの健康のためにお父さん・お母さんが考えていること、感じていることについてもお話しさせていただきます。

お聞きした情報の取り方については、実名を記載し、必要に応じて治療期間で共有させていただきます。また、看護に参加していただくこと、興味を感じるときは申し付けさせていただきます。

お父さん・お母さんご自身の看護計画

(お名前)

赤ちゃんは成長、治療上治療が必要で、いかに赤ちゃんの安全を守るかが第一と、看護を依頼いたします。必要な治療が受けやすくなるように、また看護師・医師・薬剤師が連携するように、看護スタッフも積極的な意見を述べ、ケアさせていただきます。

病室 ( 病 室 )

赤ちゃんの状態

( )

赤ちゃんが良好な状態になれるように

安全に観察したい

その他のことは、

実用形式・保護・感染防止・消毒に合わせた看護ケアを必要としています。

ご質問をあげられることがありますが、お父さんお母さんの意見を伺いながら計画を決定させていただきます。

また、赤ちゃんの体や健康によって計画が変わる場合があります。そのときはご相談ください。

この計画に同意されましたら署名をお願いします。

病室 年 月 日 赤ちゃんのご両親

富山市民病院 新生児治療科 病室看護婦 ( )



## 連載 健康レシピ⑨

## 「いちごのババロア」 (栄養科)

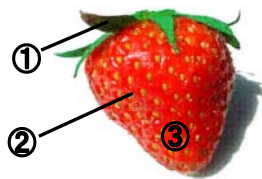


いちごの旬は、冬から春にかけて、と近年長くなってきました。いちごの魅力は「香りと色」です。実際、農園のいちごのビニールハウスに入ると甘い香りが立ちこめているといいます。

砂糖などと煮詰めるとその成分が飛散しにくくなる為、ジャムに加工されたり、牛乳やヨーグルトと組み合わせたり、飾りでケーキにのせたりと、色々なデザートとして使われています。

## 作り方

- ① いちごは洗ってヘタを取り除き、グラニュー糖、レモン汁、洋酒といっしょにミキサーにかける。
- ② ゼラチンは60～70度のお湯に入れ、ふやかしておく。
- ③ ①をボウルに入れ、②とよく混ぜ、ゼラチンが完全に溶けたら、氷水につけながらとろみが出てくるまで混ぜる。
- ④ 生クリームを七分立て(泡立て器で線が書ける程度の固さ)にする。
- ⑤ ③に④を入れ、よく混ぜる。型に流し入れ、1時間以上冷蔵庫で冷やして出来上がり。



## 美味しいいちごの選び方

- ①へたが張っていておれていない
- ②鮮紅色で色むらがない
- ③表面に張りがある

※鮮度が落ちると栄養分も減ってしまいます。新鮮なうちに、おいしく頂きましょう。

## 材料(4人分)

いちご	250g
グラニュー糖	60g
レモン(絞り汁)	半分
生クリーム	200cc
粉ゼラチン	7g
湯	大さじ2
洋酒(コアントロー等)	大さじ1

## ★栄養Q&amp;A

日頃よく耳にしたり目にしたりする栄養や食品に関する疑問にわかりやすくお答えします。

**Q** : 「冬の栄養補給とビタミンC」について

**A** : 冬場は、体調を崩しやすい時期ですが、ビタミンCを摂ると、免疫力を高め、カゼを予防する効果があります。また、空気が乾燥して肌荒れしやすくなりますが、ビタミンCには肌の保湿効果もあります。他にも、貧血予防、ストレス時での消耗改善など、様々な効力があります。また、たばこを1本吸う度に体内のビタミンCが20mg失われます。

ビタミンCは熱に弱い為、生で食べられるいちごは補給に最適です。いちごにはビタミンCが100g中50mgも含まれており、1日4～5粒食べると50mgのビタミンCを摂ることができます。

- ★ 自分**の**強気の心を大切にし  
病気に負けるな  
(田中秀直 中学生)
- ★ ふれ合いが  
ひとつの幸せを運ぶ  
(野口ゆかり 中学生)
- ★ 病院は  
清潔が大事だと感じ  
(大江巧人 中学生)
- ★ 笑顔で明るい  
あいさつを  
(板野富江 中学生)
- ★ 笑顔で明るい  
あいさつを  
(板野富江 中学生)

- ★ 触れて見て  
初めて感じる  
医療の愛  
(石川亜也加 高校生)
- ★ 助けたい  
尊い命  
守りたい  
(川高千明 高校生)
- ★ 憧れの  
背中を見ては  
夢はせる  
(矢郷志穂 高校生)
- ★ 笑顔  
みんなに元気  
あたえるよ  
(山根美春 高校生)
- ★ 看護師と  
患者さんとの  
笑顔の輪  
(岡村沙織 高校生)
- ★ その笑顔  
元気になる  
患者さん  
(熊膳春菜 高校生)
- ★ 看護師さん  
とてもやさしい  
市民病院  
(高橋知里 高校生)

連載 新病院川柳(高校・中学生編)  
「十七文字メッセージ」



連載

ボランティア・エッセイ41 病院ボランティア 石森貞夫  
『笑門来福』

♥♥年末年始の雪で、富山らしい正月でみなさま方はそれぞれゆっくり過ごされた事と存じます。私も孫に連れられて「初笑い寄席」で、三遊亭良楽師匠らの富山劇場の高座を聴き、久し振りに大笑いをしました。富山出身の落語家・桂米福師匠の長屋の熊さん演ずる落語や、種の分からないマジックあり、教室もあり、「笑門来福」良楽師匠の富山弁の“もちつき”にも会場は笑いに満ちて、子どもや親も新春を迎えての、素晴らしい気分が会場に満ち溢れた、ひと時を満喫しました。

♠♠「人はなぜ笑うのか」NHK解体ショーによると、笑いの正体は想定外との出会いで、からだには何が起きるのか、心が驚き緊張を緩和し、ストレスを解消してくれるので、病気の方は笑いとの出会いが一番で、市民病院の看護師さんも、ユーモアで患者さんを癒して下さいね。病院川柳にも「笑顔あふれるこの病院・あなたの笑顔に癒されて・今日も笑顔の看護職・スタッフの笑顔～」など人と人とが接している時、人とのコミュニケーションにはなにより大切な事です。笑いは文化の習慣で、テレ笑いあり、苦笑いもあります。年頭はお互いに明るい笑顔でスタートしましょうか。

◆◆笑顔のススメによると、意識して笑顔をつくっていると、自律神経系に変化が生じて、しばらくすると心から愉快的な気持ちで居る時と同じような感情状態になり、私たちも人の子ですから、誰かに怒りをぶっつけそうになることがあっても、一息深呼吸して、トイレの鏡の前で“笑顔づくり”、①唇の両端を耳の方向へ水平に、②両方の頬を上を持ち上げる、③口は多少開いて歯が見えるように、④目の周りに横じわを、⑤1分間自分のつくった笑顔と対面で、笑顔づくり練習



をしましょう。

♣♣「心のおしやれ」は、前かがみになって、しかめっ面したら誰でもいやになります。昨日のことや過去のことをくよくよしないこと、怒ったり腹を立てたり、寂しい身体は心も寂しくなる。身体は心の持ちようです。あなたは胸をはって空を見上げて、やる気になり今日一日を楽しく、現在をいきいきと、そうなんです、あなたの身体は、あなたの心なんです～という詩を、笑顔づくりとともに思いだした。

♥♥さて2007年は「偽」になり、耐震偽装・偽装請負・食品偽装・年金問題・薬害肝炎・原油高など“どげんかせんといかん”“ハニカミ王子”“消えた年金”“そんなの関係ねえ”“どんだけ”“食品偽装”“ネットカフェ難民”“大食い”“猛暑日”などの流行語を残して過ぎ去りましたが、我々医療にたづさわる人は、何といても本年は『がん医療』という課題になるでしょうか。

♠♠富山市民病院でも緩和ケア病棟の改築が予定され、末期のがん患者対策・在宅がん医療はどうあるべきか、がん対策番組をみて感じました。国内で年間32万人死亡するがん対策は「痛みや苦しみのない療養」を目指して、①がん対策基本法の成立(治る患者さんは設備のある病院で、治らない人は自宅療法を、医療用麻薬の確保など)、②緩和ケアを受けたとしても、受けられない実態の解決(在宅医療診療所は充分機能していない～37%)、③国は入院日数を減らして、緩和ケアは自宅だと在宅医療をどう進めるかを検討中ですが、日本ホスピス緩和ケア協会では、なぜ進まぬかを在宅を支えるネットワークをとおして、緩和ケア会議の対策状況を、がん対策番組をみて感じました。

◆◆人間の寿命は130歳だそうで、身体を支える

細胞の成長度により個人差があり、がん細胞はブドウ糖の多い場所で増殖され、血管から脳や肝臓などに定着し、若い内は免疫性が高いが、老化すると減少し、がんは早期発見と豊富な野菜量の摂取や、生活習慣を改善して規則正しい生活をするにより、毎日必要な細胞の確保となり、予防にも連なると『わかるテレビ』の解説です。

♣♣今年は「若い人が夢を見られる社会」にしないと下流層で働く“現役ネットカフェ難民”“若年ホームレス”を減少して、今後社会保障や年金などの負担増、石油や小麦粉などの原料高による物価上昇、企業の合理化による収入減と雇用難など、下流の未来は多難です。20～30代のワーキングプア(働く貧困層)化が増えて、年収200万以下の階層が100万人を超える、まさに格差社会です。今年も135万人の成人に、若い人の働きやすい環境と、やる気をださせる職場を、希望を持って「笑門来福」となるように、今日を明日を生きる勇気を与えましょう。支えて下さいね。

## 使用済みのテレホンカード・プリペイトカード・切手ごさいませんか？

職員ボランティア会では国際協力活動として、使用済みのテレホンカード・プリペイトカード・切手を集めています。以前から病院職員対象に実施していたものですが、今回、患者・家族の皆様方にもご協力をお願いし、活動を広げようと考えました。

病棟・外来の公衆電話の横に「小さな籠」を設置してあります(毎週金曜日に担当者が収集に廻ります)。どうぞ協力宜しくお願い致します。(切手は消印を入れて切り取ってください)

## ■ 今月のふれあいギャラリー(玄関ホール2階)

1月25日から2月15日まで、水彩画「わたしの絵日記4」(石金和子さん)を展示しています。待ち時間などに気軽にお立ち寄り下さい。

1月4日から展示しておりました木版画「初春の木版画展」(水上悦子さん)は1月25日で終了しました。有り難うございました。次は2月18日から3月7日まで、蜃気楼写真展「富山湾の幻想～君はしんきろうを見たか」(石森貞夫さん)を展示予定です。



反  
花さかじさん、はいおれ、  
でるにのこつたはいおれ、  
わたしはい、とすするんだよ。  
さくら、もくれん、ない、すもも、  
そんなものはまきやしない、  
どうせ春にはさくんだよ。  
一度もあかい花さかぬ、  
つまらなそうな、森の木に、  
はいのありたけさんだよ。  
もしもみこにさいたなら、  
どんなにそのはうれしかろ、  
どんなにわたしもうれしかろ。

ふれあいギャラリーより(水上悦子さん)  
木版画「初春の木版画展」

## ■ 今月のイベントと院内の動き

- 1月7日(月)17時45分:第3回接遇向上講演会が開催されました。株式会社アイベック・ビジネス教育研究所代表取締役の関根健夫先生を講師にお迎えし、「感じのよい電話対応」のご講演をお聞きしました。約150人が参加し、電話対応の基本マナーやクレーム対応など、明日からの接遇向上につながる実践的なお話しでした。
- 1月28日(月):今月から手話教室が始まります。当院来院者の聴覚障害者に1人でも多くの職員が対応できるよう、ボランティア活動運営委員会が中心となって、毎月行う予定です。
- 1月22日(火)～23日(水):富山市立看護専門学校的一般入試が行われ、59人が看護師のたまごを目指して受験しました(定員40名)。
- 1月24日(木):「医師・担当者合同交流会」が行われました。在宅医療協議会(略称・在医協とやま)会長の水上陽真先生をはじめ3名の院外の先生に、良好な在宅療養について講演していただきました。入院から在宅療養へいかに安心して移行するか、活発に討論されました。
- 1月31日(木):医学交流研修のため、研修医2名と指導医師1名が姉妹都市の米国・ノースカロライナ州ダーラム市へ出発しました。研修医2名は約1ヶ月ダーラム市に滞在し、デューク大学医学センターで研修を行ってくる予定です。

(参照:富山市民病院マガジン第42号, 病院長からのメッセージ「国際医学交流」)



国際医学交流の壮行式  
左より、引率の内科養内先生、研修医吉田先生、  
研修医田村先生、泉病院長

総編集長: 病院長 泉 良平  
編集部: 齋藤勝彦・島竹恵美子・石森貞夫  
村崎 進・松下桂子・笠原裕子・川口 宏  
発行: 富山市立富山市民病院広報委員会  
〒939-8511  
富山市今泉北部町2-1

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>

電話 076 (422) 1112  
FAX 076 (422) 1371



富山市立 富山市民病院



### 富山市民病院の理念

富山市民病院の存在意義.....MISSION 使命

私たちは医療を通して皆様の健康を守り、  
豊かな地域づくりに貢献します。

我々が何を大切にしてくるかのキーワード.....VALUE 価値観

- 信頼 安全・安心、満足、透明性
- 良質 技術、知識、向上心、科学的
- 思いやり やさしさ、やすらぎ、おもてなし、親切
- つながり 連携、チームワーク、わかりやすさ
- 俊敏 迅速、効率的、的確

将来どのような姿を目指すのか.....VISION 展望

地域医療のリーダー病院となる  
地域から最も信頼される病院になる  
地域医療の質向上を牽引する病院になる  
地域医療情報ネットワーク構築の中心的役割を担う病院になる